

ESGの"E：気候変動"にフォーカスした講座 ～ディスクロージャー編/カーボンニュートラル実践編

コーポレートガバナンスコードにより東証プライム市場の上場企業には気候変動関連の情報開示が要請されています。サステナビリティ関連の基準開発についても、IFRS財団がISSB(国際サステナビリティ基準審議会)を設立してから半年足らずで、全般的事項や気候変動関連情報の公開草案を公表、2023年の早い時期にこれら公開草案が最終化される見込みであり、急ピッチで進められています。

TCFD(気候関連情報開示タスクフォース)への賛同企業・機関も拡大しており、日本における気候変動関連情報の開示は待ったなしの状況ですが、例えば、カーボンをどのように算定し、どのように情報開示すべきか、炭素税や排出権取引はどうなっているのか等、悩みや疑問が尽きないと推察します。

このような背景を踏まえ、当法人はカーボンニュートラルの取組みに課題感をお持ちの方々の一助となるよう、主に“気候変動”にフォーカスし、“ディスクロージャー編”と“カーボンニュートラル実践編”から成る講座を開催いたします。

本講座の一部をご紹介します

ディスクロージャー編

ISSB公開草案の解説



藤本 貴子 氏

日本公認会計士協会 副会長
公認会計士

集合研修・ライブ配信：3/8(水) 14:00-16:00
アーカイブ配信：3/16(木)

カーボンニュートラル実践編

カーボンプライシングの内外状況と国内展望 ～GXリーグ、環境税の方向性



有村 俊秀 氏

早稲田大学 政治経済学術院 教授
経済産業研究所 ファカルティフェロー

集合研修・ライブ配信：2/7(火) 14:00-16:00
アーカイブ配信：3/20(月)

開催概要

回数………… ディスクロージャー編：全6回
カーボンニュートラル実践編：全5回

開催期間…… 1月10日(火)～3月30日(木)

開催時間…… 各回14:00から (1時間半または2時間)

申込期限…… 各回の開催3営業日前まで

※ご入金後のキャンセルの場合、受講料の返金は致しかねますので予めご了承ください。なお、他セミナーへの振替受講は可能ですので、ご相談ください。

開催形態…… 集合研修orライブ配信/+アーカイブ配信

※アーカイブ配信とは、ライブ配信と同じ映像を後日、再配信するものです。
集合研修・ライブ配信のお申込にもアーカイブ配信が付きます。
アーカイブ配信のみの受講も可能です。
詳細につきましては、アーカイブ配信のご案内をご参照ください。

会場…………… 東京金融ビレッジ/青山学院大学

※3/20(月)開催の「サステナビリティ情報とコーポレートガバナンス—環境情報開示を考えるヒント—」のみ、青山学院大学で実施いたします。
詳細は当法人にお問合せ下さい。

受講料…………… 会 員：無料

非会員：各回10,000円(税込)

※法人会員は1口につき各回3名まで無料
超過人数1名につき各回3,000円(税込)

もし、非会員として全講座を受講する場合の総受講料は110,000円となりますが、下半期以降会員にご加入いただくと、通常年会費半額の15,000円の負担で受講していただけます。(年会費の半額適用は初年度のみ)

※会員についての詳細は、[WEBサイト](#)をご覧ください。

講座のお申込みについて

WEBサイトよりお申込みください

Search JFAEL 実務家研修

<https://jfael.or.jp/practical/>

詳細は次ページへ

その他講座も多数ご用意
しております

ディスクロージャー編(全6回)

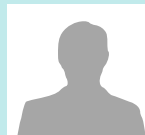
※本講座はCPE・FP継続教育単位付与対象です。

各テーマ概要/講師

日時

1. サステナビリティ情報を中心とした、今後の企業のディスクロージャーの方向性

金融審議会ディスクロージャーワーキング・グループにおける「サステナビリティに関する企業の取組みの開示」等の審議状況を踏まえ、諸外国と日本におけるサステナビリティ開示に係る動き、有価証券報告書における記載欄の新設、我が国におけるサステナビリティ開示に係る基準設定主体の法令上の位置づけ、サステナビリティ情報に対する保証に関する議論等について、解説します。



廣川 斉氏
金融庁 企画市場局
企業開示課長

1/10(火)
14:00-15:30

2. サステナビリティ開示—経済社会のサステナビリティに向けての貢献—

サステナビリティ開示は、経済社会のサステナビリティに向けてどのように貢献ができるのでしょうか。(1) サステナビリティ開示が企業による外部コストの内部化を促進、(2) サステナビリティ開示の普及がサステナブル投資を促進、(3) 会計・サステナビリティ情報は新しい資本主義やステークホルダー資本主義の基盤を提供、の3つの観点から、会計・ESGデータの探索的データ解析を交えて考察します。

※集合研修の実施はございません。

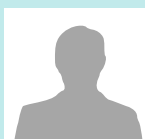


阪 智香氏
関西学院大学 商学部 教授
財務会計基準機構
サステナビリティ基準委員会(SSBJ)
委員

1/16(月)
14:00-16:00

3. TCFDガイダンス3.0（気候関連財務情報開示）の解説、及び事例紹介

企業の気候変動関連情報開示を促進するために策定されたTCFDガイダンスについて、2022年10月に最新版となるTCFDガイダンス3.0が公表されました。本ガイダンスのうち、「第2章TCFD提言に沿った開示に向けた解説」を軸として、情報開示の実務において課題となっているシナリオ分析における脱炭素経済への移行リスク、気候変動による物理的リスクの定量・評価方法などについて、事例も交えて解説します。

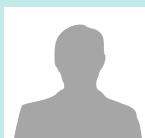


山口 健一郎氏
株式会社三菱総合研究所
TCFDコンソーシアム事務局
サステナビリティ本部
気候変動ソリューショングループ
主席研究員

2/1(水)
14:00-16:00

4. サステナビリティ情報に関する開示の好事例と サステナビリティ開示の導入に向けた改正内閣府令の解説

経営方針やMD&A等をテーマに公表されてきた「記述情報の開示の好事例集」に、2021年版からは、気候変動関連など、サステナビリティ情報が追加されました。これら好事例集の最近の動向に加え、2022年11月7日に公表された、有価証券報告書におけるサステナビリティ開示の導入に係る内閣府令改正案等について、解説します。



上利 悟史氏
金融庁 企画市場局 企業開示課
開示企画調整官

2/16(木)
14:00-16:00

5. ISSB公開草案の解説

IFRS財団の国際サステナビリティ基準審議会（International Sustainability Standards Board：ISSB）から、2022年3月に二つのIFRSサステナビリティ開示基準の公開草案：「サステナビリティ関連財務情報開示に関する全般的な要求事項」（S1）及び「気候関連開示」（S2）が公表されました。現在、IFRS財団において、2023年のできるだけ早い時期でのS1及びS2の最終化に向けた作業、気候関連開示以外のサステナビリティ開示基準の開発に向けたアジェンダ・コンサルティングの準備が進められています。本講座では、二つの公開草案の概要を分かりやすく解説するとともに、特に論点となるポイントや適用上の課題についても解説します。



藤本 貴子氏
日本公認会計士協会 副会長
公認会計士

3/8(水)
14:00-16:00

6. サステナビリティ情報とコーポレートガバナンス—環境情報開示を考えるヒント—

企業経営と経済社会のサステナビリティの実現に向けての連結環としてディスクロージャー制度を位置づける必要があり、そこではサステナビリティ情報の開示は必然的なものとなる。コーポレート・ガバナンスは、取締役会の単なる行動および対話より複雑で多面的であり、かかる行為は企業、株主およびその他のステークホルダーの間に存在する関係性と関連性を反映したもので、どのように企業が内外のステークホルダーと相互に対話するかを意味する用語である。この2つの視点から、環境情報開示の意義を考えてみたい。

※集合研修は青山学院大学で実施いたします。詳細はお申込者様へ個別にご連絡いたします。



小西 範幸氏
青山学院大学大学院
会計プロフェッション研究科 教授
国際会計研究学会 会長

3/20(月)
14:00-16:00

カーボンニュートラル実践編(全5回)

セミナーのテーマや概要は変更になる場合がございます。
※本講座はCPE・FP継続教育単位付与対象予定です。

各テーマ概要/講師

日時

1. GX(グリーントランスフォーメーション)実現に向けた経済産業省の取組について

2050年カーボンニュートラル実現にあたり、官民が炭素中立型の経済社会に向けた変革の全体像を共有し、新しい時代の成長を生み出すエンジンとしていく必要があります。クリーンエネルギー中心の産業構造・社会構造へ転換するGX（グリーントランスフォーメーション）の実現に向けた政策の最新動向や今後の方向性について、GXリーグやトランジション・ファイナンスといった政策を交えながら紹介します。



関 瑛理子 氏
経済産業省 産業技術環境局
環境政策課 環境経済室
係長

1/24(火)
14:00-15:30

2. カーボンプライシングの内外状況と国内展望～GXリーグ、環境税の方向性

脱炭素社会に向けて、各国で排出量取引や炭素税等のカーボンプライシングが進んできました。本報告では、欧州や米国の排出量取引に加えて、中国や韓国の導入状況を紹介します。
また、北欧、ドイツやカナダのプリティッシュ・コロンビアで実施されている炭素税の二重の配当の考え方も紹介します。そのうえで、日本における制度設計について、環境省が進める環境税や、経済産業省のGXリーグについて紹介します。
また、座長として関わった経済産業省のカーボンクレジットレポートの内容も紹介します。
最後に、欧州で提案されている国境炭素価格制度についても紹介します。



有村 俊秀 氏
早稲田大学 政治経済学術院 教授
経済産業研究所
ファカルティフェロー

2/7(火)
14:00-16:00

3.カーボン・クレジット市場の実証事業創設について～試行取引の状況と今後の課題～

2022年2月、政府の「GXリーグ基本構想」では、自主的な排出削減目標の設定とそのための排出量取引の仕組みと共に、その取引を自主的に行う場として「カーボン・クレジット市場」の創設が掲げられ、東京証券取引所は、2022年9月から本年1月まで、経済産業省の委託事業として同市場の技術的実証事業を実施しました。
本講座では、実証事業での市場の仕組み、取引対象の「Jクレジット」等の説明とともに、取引状況や来年度以降の本格稼働での課題等についても解説します。



松尾 琢己 氏
株式会社日本取引所グループ 総合企画部
企画統括役 兼
株式会社東京証券取引所
カーボン・クレジット市場整備室長

2/22(水)
14:00-15:30

4. 脱炭素経営のヒントとCO2排出量算定の最前線

第1部：CO2排出量算定の国際ルールと算定実務の現状（担当：坂本 洋一 氏）
脱炭素経営の基礎知識や国際ルールについて解説しながら、CO2排出量の算定実務について解説します。

第2部：TCFD・CFP(製品・サービス別 CO2 排出量可視化)の最新動向（担当：渡慶次 道隆 氏）
TCFD 情報開示のフレームワークや、株式会社ゼロボード代表の渡慶次道隆氏が委員として参画する、経済産業省主催「サプライチェーン全体でのカーボンニュートラルに向けたカーボンフットプリントの算定・検証等に関する検討会」で議論されている最新動向についてお伝えします。



渡慶次 道隆 氏
株式会社ゼロボード
代表取締役



坂本 洋一 氏
株式会社ゼロボード
ビジネス本部
ビジネス本部長

3/3(金)
14:00-15:30

5.カーボンニュートラル、GX、ESGの本質理解と企業内推進における社内組織立ち上げ、変革、情報開示のキーポイント

そもそもなぜ世界がカーボンニュートラルに向けて大きく動いているのか。企業がGX、ESGを推進しなくてはならないのか。ビジネスのルールを変えるこの流れは今後どのような変化を社会にもたらそうとしているのか。前提の解説を行うとともに、本講座は、GX推進のための講座や研修プログラムを運営し、企業のサステナビリティ/ESG推進の支援を数多く手掛けてきた講師が、社内組織立ち上げから、組織内コミュニケーション施策設計、情報開示の取組みのキーポイントについて、実例を交えて解説いたします。



菅原 聡 氏
一般社団法人Green innovation
代表理事

3/30(木)
14:00-16:00

ESGの"E：気候変動"にフォーカスした講座 ～ディスクロージャー編/カーボンニュートラル実践編 アーカイブ配信のご案内

アーカイブ配信に関する注意事項は以下の通りです。

- ・集合研修・ライブ配信のお申込みにもアーカイブ配信が付きます。
セミナー当日に参加されなかった場合、アーカイブ配信視聴への変更のお手続きは不要です。
- ・アーカイブ配信のみご受講希望の方もお申しいただけます。
お申込みは集合・ライブ配信開催終了後も受け付けております。
- ・ご視聴いただけるのは配信日当日に限りますが、好きな時間に何度でもご視聴いただけます。
- ・配信当日の午前0時に視聴用URLをお送りいたしますので、氏名、メールアドレスを入力し、ご視聴ください。
- ・**配信期間の延長は原則ございません。**配信日当日にご視聴いただくよう、ご協力をお願いいたします。
- ・アーカイブ配信は、CPEおよびFP継続研修単位の付与対象外となります。

お申込みについては、当法人のWEBサイトをご覧ください。

ディスクロージャー編

セミナー名	講師	アーカイブ配信日	申込期日
サステナビリティ情報を中心とした、今後の企業のディスクロージャーの方向性	廣川 斉氏	2/27(月)	2/21(火)
サステナビリティ開示ー経済社会のサステナビリティに向けての貢献ー	阪 智香氏	3/2(木)	2/27(月)
TCFDガイダンス3.0（気候関連財務情報開示）の解説、及び事例紹介	山口 健一郎 氏	3/6(月)	3/1(水)
サステナビリティ情報に関する開示の好事例とサステナビリティ開示の導入に向けた改正内閣府令の解説	上利 悟史氏	3/13(月)	3/8(水)
ISSB公開草案の解説	藤本 貴子氏	3/16(木)	3/13(月)
サステナビリティ情報とコーポレートガバナンスー環境情報開示を考えるヒントー	小西 範幸氏	3/22(水)	3/16(木)

カーボンニュートラル実践編

セミナー名	講師	アーカイブ配信日	申込期日
G X（グリーントランスフォーメーション）実現に向けた経済産業省の取組について	関 瑛理子 氏	3/9(木)	3/6(月)
カーボンプライシングの内外状況と国内展望～GXリーグ、環境税の方向性	有村 俊秀氏	3/20(月)	3/15(水)
カーボン・クレジット市場の実証事業創設について～試行取引の状況と今後の課題～	松尾 琢己氏	3/27(月)	3/22(水)
脱炭素経営のヒントとCO2排出量算定の最前線	渡慶次 道隆 氏 坂本 洋一 氏	3/29(水)	3/24(金)
カーボンニュートラル、GX、ESGの本質理解と企業内推進における社内組織立ち上げ、変革、情報開示のキーポイント	菅原 聡 氏	4/5(水)	3/31(金)